

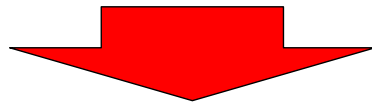
# 環境の変化に対応した 『学士力』の修得

E班-1グループ  
すぱぽ

## 大学が抱える問題点

### 【大学を取り巻く環境の変化】

- 少子化による全入時代
- 経済状況の悪化



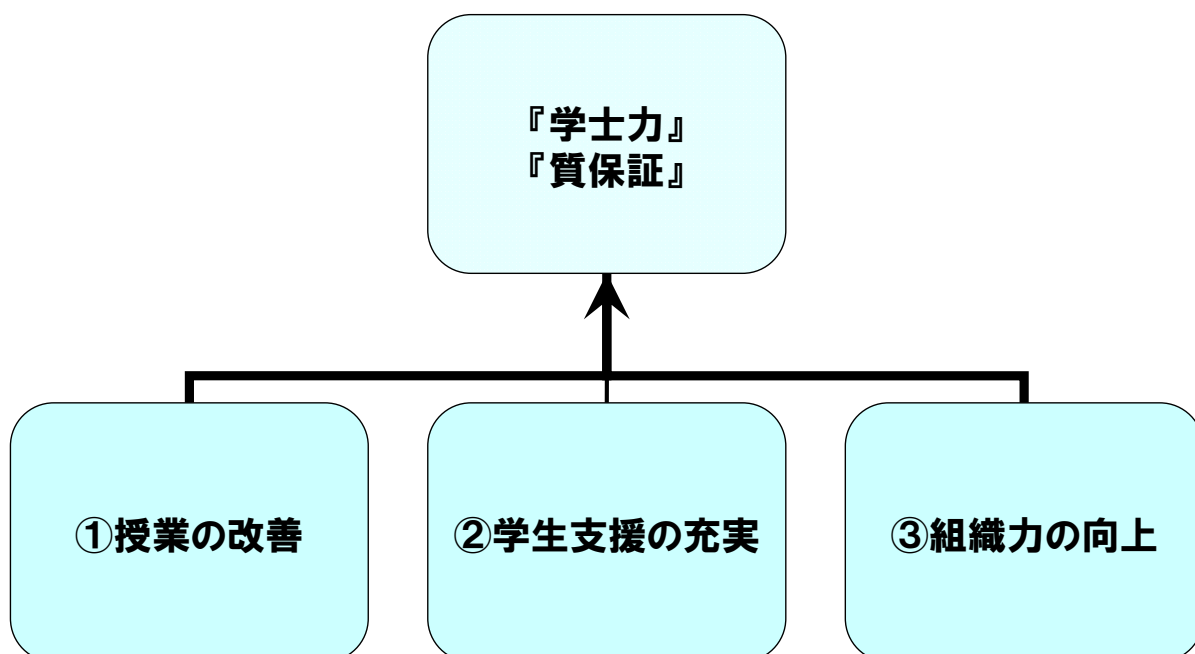
- 休学・退学者の増加(離籍率の上昇)
- 就職率の低下
- 少子化による学生の質の低下

## テーマの設定

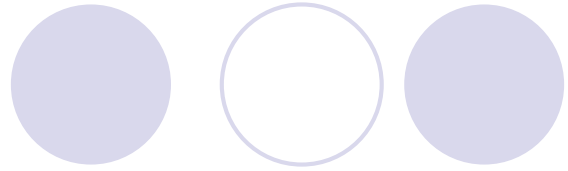
### 環境の変化に対応した『学士力』の修得 ～大学の質保証～

上述の問題点解決するためには、あくまで大学の  
本質である『学士力』をいかに身につけることができ  
るか(大学の質の保証)が重要である。

## 『学士力』修得のために必要な取り組み



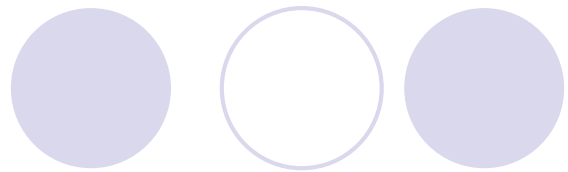
## ① 授業の改善



### 【現状の問題点】

1. シラバスのあり方
2. 授業内容をフィードバックする機会がすくない
3. 授業評価のあり方

## ② 学生支援の充実



### 【現状の問題点】

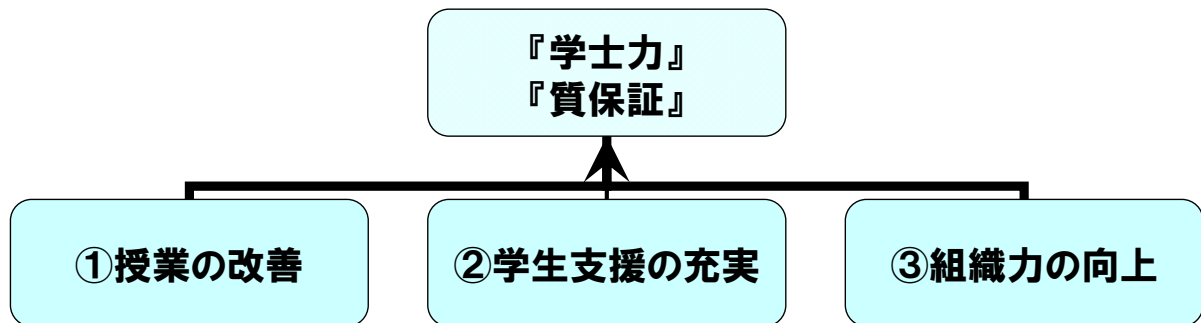
1. 4年間を通じた体系的な学生支援がない
2. 学生が必要とする情報提供の方法に問題がある

## ③ 組織力の向上

### 【現状の問題点】

1. 部署間での情報共有の欠如

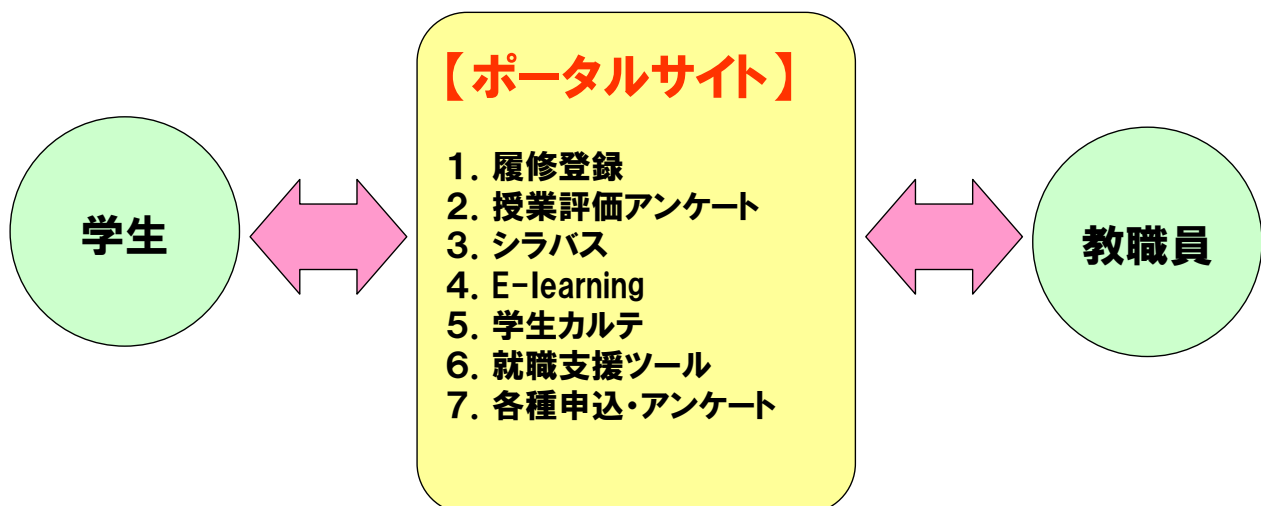
前述の問題点を解決するためには..



**一元化された学生支援ツール  
(ポータルサイト)の作成**

学生支援ツール(ポータルサイト)とは

学生にとって必要な情報が、すべて集約された、ネットワークを介した全学的な支援ツール



## ① 授業改善

ポータルサイトを導入すると…

1. 履修登録に関連付けられたシラバスの活用が可能になる → 納得のいく授業選択
2. E-learningを導入し、授業外学習の徹底 → 反復学習による授業理解度のアップ
3. 授業評価をポータルサイトから入力 → 正確なデータを収集し、授業の改善を図る

## ② 学生支援の充実

ポータルサイトを導入すると…

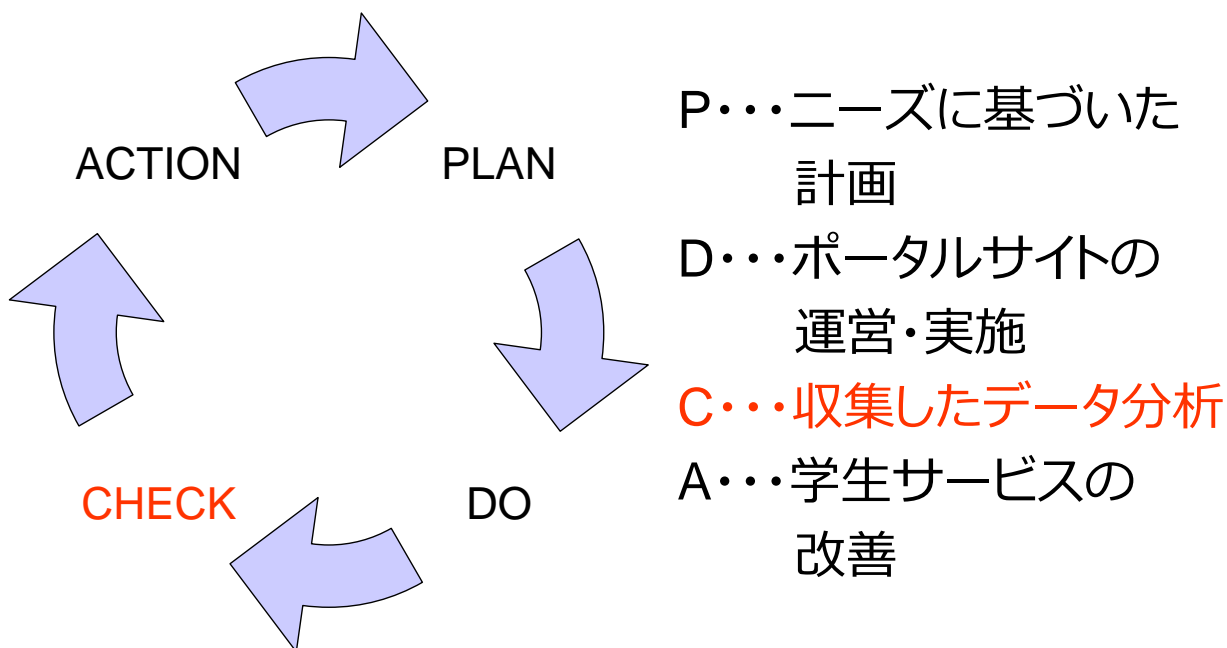
1. 学生カルテを作成・管理 → 4年間のキャリアデザインを明確にすることができる
2. 学生個々に応じた情報提供 → スムーズな学生生活の実現が可能となる

## ③ 組織力の向上

ポータルサイトを導入すると…

1. 情報の一元化により、部署間を越えて情報を共有 → 学生のたらい回しをなくすことができる

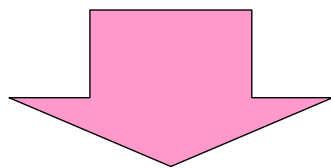
## PDCAサイクルの活用



## まとめ

【グループ討議のまとめ】

「ポータルサイト」を通じて、  
「情報の可視化・一元化」を実現し、  
「学生満足度の向上」に貢献する



- 『学士力』の修得
- 大学の質保証